

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（月 日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 新たに工業教育の充実と多彩な進路に対応する教育課程を提供する。 探究活動を通し、自らの課題発見と解決能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路別の教育課程により多様な生徒のニーズに対応した進路支援を実施する。 ②工業教育の活性化を図り、探究活動を通して自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力、課題対応能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路別の必修選択により将来の進路に備えることができるよう支援を行い、生徒個々に合った教育課程の提供を行う。 ②資格取得やコンテスト等への参加を促し、より多くの生徒に成功体験を積み重ねる機会を提供することで、進路実現に向けた意識向上を図る。 ③実習や課題研究、総合的な探究の時間、向工 Fes 等の体験活動を積み重ね、自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力や課題対応能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①支援により進路別の必修選択を生徒が理解し、自己の将来に合わせた選択を行う事ができたか。 ②資格取得への取り組み状況は向上したか。工業に取り組む意識は向上したか。 ③探究活動や向工 Fes 等により自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力や課題対応能力が向上したか。 					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性、協調性の育成をめざし、学校行事や部活動等を推進する。 生徒の安心・安全な学校生活に向けて、生徒一人ひとりに応じた支援を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の主体的な活動として、生徒会、各委員会、部活動の活性化のための支援を行う。 ②生徒の状況把握に努め、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒会や各委員会の活動、学校行事で生徒の主体的な取組を実現できるよう支援する。 ②部活動集会等で部活動の意義を指導していくことで、部活動の活性化を図る。 ③問題行動の未然防止として、些細な情報も漏らさず、きめ細やかな対応を図る。 ④サポートドックを有効活用し、SCやSSWと協同することで、三者面談等の機会を通じて職員が生徒一人ひとりの課題に寄り添った対応を行えるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒会や各委員会活動、学校行事で生徒の主体的な取組が実現できたか。 ②部活動の加入率や活動日数が増加したか。 ③問題行動の未然防止により特別指導の件数が前年度より減少したか。 ④課題を抱える生徒について、職員間の情報共有を密にし、適切な教育相談窓口につなげることができたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの進路実現に向け、社会的、職業的自立に向け、能力や態度を育成する。 生徒の多様な進路選択に向けた情報収集や情報整理能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路相談の時間を確保し進路選択における進路指導の充実を図る。 ②進路選択のミスマッチを防ぐため、専門業者と連携し、生徒の進路選択に向けた知識を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路に関する生徒個々の相談時間を増やすため、ICTを活用した情報提供を行う。 ②専門業者と連携し、説明会・セミナー等を開催し、就職・進学についての情報提供の機会を増やすと同時に模擬試験や論文指導等の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICTの活用により、生徒がより多くの情報収集と相談時間の確保ができたか。 ②自己の実力を判断するため、進路情報等について理解し進路選択に役立てることができたか。 					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動を推進する。 中学校やその生徒、保護者へ向け、本校の魅力・特色を広報し、地域に根差した学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①積極的に地域や企業と連携し協働事業の活性化を図る。 ②本校の教育活動の魅力や特色が伝わるホームページ、説明会等の広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の研究として実施している、ジュークボックス修理や自動ハンドベル演奏、特別支援学校への技術協力等を、地域や企業との連携により行う。 ②年3回行う高校体験(TECH LAB)、学校説明会の充実を図る。HPやInstagramの更新を積極的に行い、本校の魅力や特色を広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①連携企業・団体の数がどれだけ増えたか、関係者へのアンケートで活動の意義が認められたか。 ②説明会や体験会の満足度と魅力が伝わったか。HPの閲覧数やInstagramのフォロワー数は増加したか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校と授業のICT化を支える情報管理を図る。 生徒の安心・安全な学校生活に向けて、防災教育・環境保全を推進する。 職員の資質向上や、風通しの良い職場づくりにより、事故不祥事防止を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の資質・能力の育成と学校業務の効率化のため、ICTを効果的に活用する。 ②生徒が安心して過ごせる環境をつくとともに、職員の事故不祥事を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT利活用を継続的に発展させていくため、ソフトウェアやハードウェアの整備をするとともに、業務を効率化させる研修を推進する。 ②清掃活動や防災訓練を通して、美化意識や防災意識を高める。 ③事故不祥事を防止するために、不祥事防止会議を職員会議後に行うとともに、気になることがある時は、学年や各教科などで組織的な対応をすることで、風通しのよい職場を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業や学校業務においてICTを効率的に活用できる環境を整えられたか。 ②清掃活動や防災訓練を通して、美化意識や防災意識を高めることができたか。 ③事故や不祥事を未然に防ぐことができたか。 					